



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

被災者の退院支援

生まれ育った町でもう一度



田辺 紀子

Aさんは
昨年、豪雨
災害で被
災されまし

た。避難所で体調を崩しリハビリが必要な状態となり当院回復期リハビリテーション病棟に入院して来られました。入院された時は、病状と被災時の怖い体験が重なり、表情も暗く言葉を十分に発することができませんでした。生活に慣れ少しずつご自身のこと話を話していただきました。

「帰りたい」と希望されました。スタッフはリハビリでどのような力をつけたいか、必要なのか、現地の真備地域生活支援センターの平岡さんと連携をとっていきましました。平岡さんからお聞きする現地情報は、私たちが目指す方向をより具体的なものにし、退院後の生活をともに描くことができました。

一度に失ったものが大きすぎ

スタッフがAさんが失くしたのを見ることが、Aさんの回復のお手伝いが必要なかとの思いから一緒に真備の町に帰ってみることにしました。Aさんは変わってしまった家を目の当たりにし倒れそうになる場面もありました。ご両親との思い出も馴染みの家具も、当たり前前だった日常がそこにはありませんでした。しかし、数多くの思い出をスタッフに教えてくださいます。



リフォームされたわが家の感触を確かめる (右は真備で担当の平岡さん)



流された調度品の使い勝手に近づきたい、量販店にて (右は当院の小野MSW)

平岡さんは、Aさんが住み慣れた町に帰ること、共に暮らす地元の人があること、気にしてくる人の存在が、Aさんを笑顔にしてくれたと言われています。そのお手伝いできたことがスタッフ一同の喜びです。

医療福祉相談・連携室
室長 田辺 紀子

金光町からも

リハビリ評価の要請



藤原 明子
協の金光支
部健康ま

話から、金光町の老人クラブ「呉竹会」への広がり、これからは声を掛け合いながら運動を継続してもらえたらと思います。

老健あかね
理学療法士 藤原 明子

人生100歳時代に入り、自分らしく歳を重ねるためには何が必要か、どう過ごしていったらいいのか？を講話に入れたみ、皆さんとても興味深く聞いて下さいました。講話のサブタイトルに「楽しく運動しませんか？」をつけました。運動を地道に継続していくことはとても難しいと感じます。生活の中にどうやって筋力トレーニングやストレッチを入れて行ったらよいのか、筋力トレーニングはいつからするのか、(今すぐです。でも少しずつ)自分の体調や痛み、生活スタイルに合わせて行いましょうとお話しました。



筋トレを実践する下竹老人クラブ「呉竹会」のみなさん

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

水島臨床フォーラム

自宅復帰を目指す尿失禁リハ



山本 武範主任作業療法士

1月31日、水島臨床フォーラムにて、「回復期リハビリ病棟での多職種で取り組む尿失禁リハ」というテーマで発表させて頂きました。

当院では、日常の排泄状況を把握するために「排泄スコアブック」を作成しました。また、多職種にて情報を共有することにより、具体的に訓練メニューを設定することが可能となりました。可能な限り早期の自宅復帰を目指すため、入院時に明確に目標を設定することが本人の意欲の向上となり、多職種が一丸となり、同じ目的に向けて取り組むことで、円滑な排泄機能の回復、

再獲得につながる結果となりました。尿失禁リハへの取り組みは、様々な職種が関わるチームです。しかし、病棟での取り組みは、あまり見えないこともあり、各職員の努力を紹介出来てよかったです。コープリハビリテーション病院 作業療法士 山本 武範



医療安全文化・全国2位 自分で考え提案した成果



大田 幸子 2月に全研修会があり、

2017年度に行った「医療における安全文化調査取り組み報告」について発表しました。

医療安全文化とは、「医療（介護）に従事する全ての職員が患者（利用者）さんの安全を最優先に考え、その実現を目指す態度や考え方を可能にする組織のあり方の事」です。調査の結果、当院はスタッフ間での報告の頻度は全国比153位中2位でした。臨牀では報告連絡相談、マニュアルを守る、システムを改善す

ることも重要ですがそれだけではミスは防げません。安全文化活動評価を行うことで問題を明らかにし、職員の安全に対する意識を高めていく活動が重要になります。そのための病棟での主な取り組みについては、問題となる出来事が発生した時に、なぜそのようなことが発生したのか？気づく、考えることができること、そこからなぜ分析をおこない、結果だけでなく原因の仮説を立てること、仮設に基づき実践評価を行い再発防止に繋がっています。スタッフ間での報告についても出来事そのまま報告するのではなく、SBAR(エス

バー)を意識しておこなっています。

コミュニケーションのツール

- SBAR
 - コールアウト(声出し確認)
 - チェックバック(再確認)
- 情報を受けた時にフィードバックする



SBAR(エスパー)

- 状況 Situation: 患者に何が起きているか
- 背景 Background: 患者の臨床的背景は何か
- 評価 Assessment: 問題に対する自分の考えは何か
- 提案 Recommendation: 問題に対する自分の提案は何か

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。

ボランティア総会

3月27日(水)

時間 14:00~15:30

場所 コープリハビリテーション病院 2階会議室



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 平日 9:00~16:30
土曜日 9:00~12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町 1-60
ホームページ
http://coopreha.jp/
メールアドレス
info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

診療表					老健あかね [086-446-6541]		
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30~12:00 [086-444-3212]							
	外来	装具 外来	歯科	短時間 通所 リハビリ	短期集中 健康アップ 教室	訪問 リハビリ	通所 リハビリ
診療時間	午前 9:00~ 12:30	14:30~ 15:00	午後	9:00~ 16:50	9:30~ 11:00		9:00~ 16:00
月				○	○	○	○
火	渡辺	(予約制)	(予約制)	○	○	○	○
水	飯塚			○	○	○	○
木	太田		(予約制)	○	○	○	○
金	飯塚			○	○	○	○
土					○		○

医療福祉相談・連携室		
相談 受付時間	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00
	日・祝日	休み

コープリハビリテーション病院 老健あかねも協賛しています。

第16回 みずしめ 舞めぐり

新入職員紹介



コープリハビリテーション病院 事務課 三井 翔太



老健あかね 通所リハビリ 看護師 川野さおり



老健あかね 通所リハビリ 看護師 大形 貴子

2月1日より移動になりました、三井(みい)翔太です。これまで9年間歯科で仕事をしていたので、分からないことだらけですが、一つ一つ学んでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。